

ARCACLAVIS NEXT

顔情報一括インポートガイド
V2.0

株式会社両備システムズ

改訂履歴

2024/6/30

12 版

目次

1. 本書について	4
1.1. 本書の表記	4
1.2. 用語	5
2. 概要	6
2.1. 概要	6
2.2. 動作環境	6
3. 使用方法	7
3.1. 顔画像撮影から開始する場合	8
3.1.1. 概要	8
3.1.2. 顔画像を撮影する	8
3.1.3. 顔情報インポートファイルを作成する	16
3.1.4. 顔情報をインポートする	26
3.1.5. ジョブ管理画面	30
3.1.6. エラーメッセージ	33
3.2. 既存の顔画像ファイルを利用する場合	38
3.2.1. 概要	38
3.2.2. 顔画像フォルダを配置する	39
3.2.3. 顔情報インポートファイルを作成する	40
3.2.4. 顔情報をインポートする	40

1. 本書について

株式会社両備システムズ 認証セキュリティ製品「ARCACLAVIS NEXT」をご利用いただき、誠にありがとうございます。

ARCACLAVIS NEXT（アルカクラヴィス ネクスト、以下、NEXT）は、パスワードによる認証にICカード認証や生体認証を組み合わせた二要素認証により、多くの情報を扱うコンピューター利用時の確実な本人認証を実現し、なりすまし、不正行為、情報漏えいを防ぐための認証強化を行うことができるセキュリティ製品です。

本書は、ARCACLAVIS NEXT で顔認証を行うための顔情報を一括でインポートして登録する手順を製品付属のツールを含めて説明するガイドです。

1.1. 本書の表記

本書は、以下に示す表記、記号、四角囲い付きスタイルで記載しています。

表記例	説明
<OK>、<キャンセル>、<次へ>、<適用>	ボタン名は、“<>”で囲んで表しています。
[ファイル]-[開く]	メニューのコマンドの選択順を表しています。
「ダイアログ名」、「入力値」、「画面名」、「ファイル名」	“「」”で囲んでいる箇所は、ダイアログ名や入力値などを表しています。
チェックする、チェックしない、チェックをはずす、オンする、オフする	チェックボックスなどを選択する/選択しない、ON/OFF することを表しています。
[Ctrl]キー	キーは、“[]”で囲んで表しています。
[Ctrl]+[Alt]+[Del]キー	“+”で連結しているキー表記は、同時に複数のキーを押すことを表しています。
※	注釈を表しています。補足説明、コメントを記載しています。
サインイン/サインアウト	「サインイン/サインアウト」「ログオン/ログオフ」の操作、機能名称は「サインイン/サインアウト」を使用して記載しています。



ご利用にあたり、注意いただきたい事項について説明します。



補足的な情報について説明します。

1.2. 用語

ARCACLAVIS NEXT の用語については、「ARCACLAVIS NEXT 用語集」を参照してください。

2. 概要

2.1. 概要

顔情報の登録方法について本ガイドでは、管理者が顔情報一括インポートツールで登録する方法について説明します。

NEXT クライアントで顔情報を登録する方法については「ARCACLAVIS NEXT クライアント操作ガイド」を参照してください。管理者がNEXT マネージャーで登録する方法については「ARCACLAVIS NEXT 管理者ガイド」を参照してください。

2.2. 動作環境

動作環境については、「ARCACLAVIS NEXT 動作環境一覧」を参照してください。

3. 使用方法

顔情報一括インポートの使用方法について説明します。

Web カメラで顔を撮影して顔情報を作成する方法「3.1. 顔画像撮影から開始する場合」と、社員証等の顔画像から顔情報を作成する方法「3.2. 既存の顔画像ファイルを利用する場合」の2通りがあります。



顔情報一括インポートには登録対象の NEXT ユーザーID が必要になります。

ユーザー管理

基本設定

NEXTユーザーID*	user1
NEXTパスワード	<input type="password"/>
	<small>パスワードを変更する場合は、新しいパスワードを入力してください</small>
確認用NEXTパスワード	<input type="password"/>
NEXTユーザー名*	user1

登録対象の NEXT ユーザーが NEXT マネージャーに存在しない場合は、「ARCACLAVIS NEXT 管理者ガイド」を参照し、NEXT ユーザーを作成してください。



NEXT マネージャーのポリシー設定で、「顔認証マスタに画像を登録しない」がオンの状態でインポートする場合、顔情報のみが登録され、顔画像は登録されません。詳細は「ARCACLAVIS NEXT 管理者ガイド」を参照してください。

3.1. 顔画像撮影から開始する場合

3.1.1. 概要

顔画像撮影から開始する場合の手順は以下の手順で行います。

1. 顔画像登録ツールで顔画像を撮影
2. 1の画像を顔情報インポートファイル生成ツールに取り込みインポートファイルを生成
3. 2で出力したファイルをNEXT マネージャーのインポート機能でインポート

Info 顔画像登録ツールで撮影した顔画像から顔の検出チェックを行うためには、顔画像登録ツールがインストールされているコンピューターに顔認証用のランタイム「RS OLFACE」がインストールされている必要があります。
顔認証用のランタイムのインストール手順は、「RS OLFACE インストールマニュアル」を参照してください。

3.1.2. 顔画像を撮影する

1. 顔画像登録ツールのフォルダをコピーします。

顔画像登録ツールを実行するコンピューターの任意のフォルダに、製品メディアまたはISOファイルに同梱されている以下の顔画像登録ツールのフォルダをコピーします。

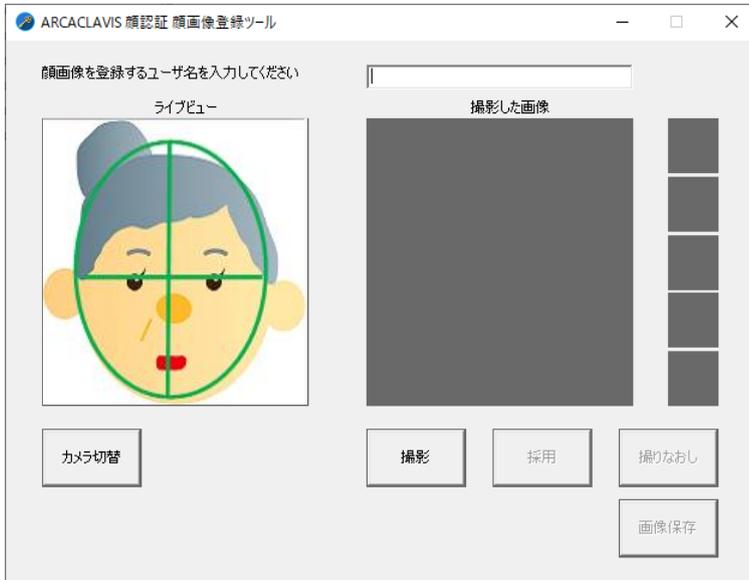
<製品メディアまたはISOファイル>¥Utility¥ArcOfFaceCamera

2. 顔画像登録ツールを起動します。

手順 1 でコピーしたフォルダ内にある顔画像登録ツール(※)を起動します。

(※)顔画像登録ツールのファイル名：ArcOlFaceCamera.exe

以下の画面が表示されます。



Info 顔認証用のランタイム「RS OLFACE」がインストールされていない状態で顔画像登録ツールを実行した場合は、以下のダイアログが表示されます。



画像左下のメッセージに「Web カメラを認識中です。しばらくお待ちください」がしばらく表示されていたら、Web カメラを認識中に異常になった可能性があります。Web カメラを取り外し、再接続を行ってください。

3. Web カメラを切り替えます。

Web カメラが 2 台以上接続されている場合、<カメラ切替>ボタンをクリックして、撮影する Web カメラを切り替えることができます。

また、前回起動時とは別の Web カメラが接続されている場合や、起動中に別の Web カメラを接続し直した場合、<カメラ切替>ボタンをクリックすることにより Web カメラが切り替わります。



接続されている Web カメラが他で使用中的場合は、切り替えができません。

4. 顔画像を登録するユーザー名を入力し顔画像の撮影をします。

NEXT ユーザーID を入力して顔画像の撮影を行います。

※下図は、NEXT ユーザーID 「user1」 の顔画像を登録する場合の例です。



Info 「ライブビュー」に表示されているガイドの枠に顔の正面全体が収まるようにしてください。マスクは非着用の状態で顔画像の撮影を行ってください。

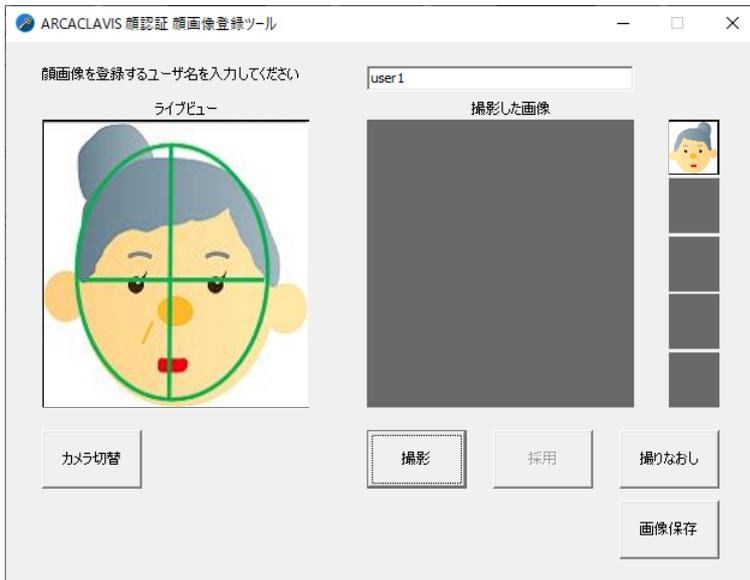
Info 「撮影した画像」に表示される画像は、左右反転して表示されます。

<撮影>ボタンをクリックして、画像を撮影します。「撮影した画像」に表示されます。

<採用>ボタンが有効になります。

5. 撮影した画像を採用します。

撮影した顔画像を確認し採用します。



<採用>ボタンをクリックして「撮影した画像」を採用します。

撮影した顔画像のチェックが行われ、問題なければ「撮影した画像」が右の採用画像に登録された後、「撮影した画像」がクリアされます。

採用した画像をキャンセルしたい場合は、<撮りなおし>ボタンをクリックします。

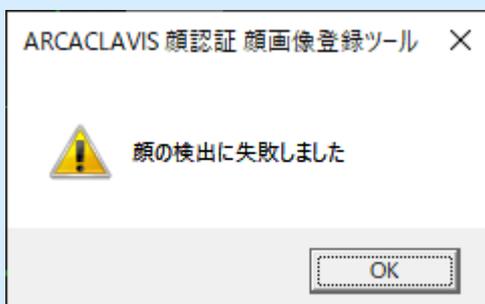
<撮りなおし>ボタンをクリックした場合は、最後に採用した画像が削除されます。



顔認証用のランタイム「RS OLFACE」がない場合、<採用>ボタンクリック時に行われる「顔画像のチェック」処理は行われません。



顔画像のチェックで顔の検出に失敗した場合は、以下の画面が表示されます。
<OK>ボタンをクリックして、手順4の顔画像の撮影からやり直してください。

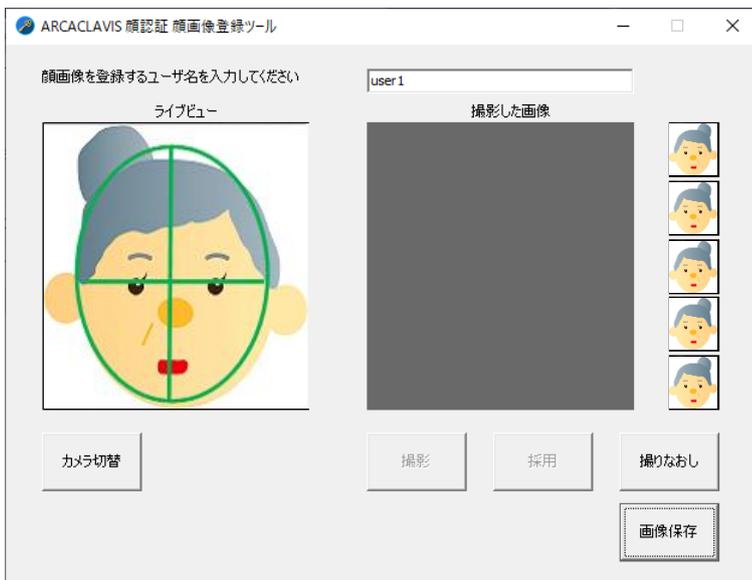


Info 顔画像のチェックで顔の特徴点生成に失敗した場合は、以下の画面が表示されます。
<OK>ボタンをクリックして、手順 4 の顔画像の撮影からやり直してください。



6. 顔画像の採用を繰り返します。

手順 4～手順 5 を繰り返し、最大 5 枚の顔画像を採用します。

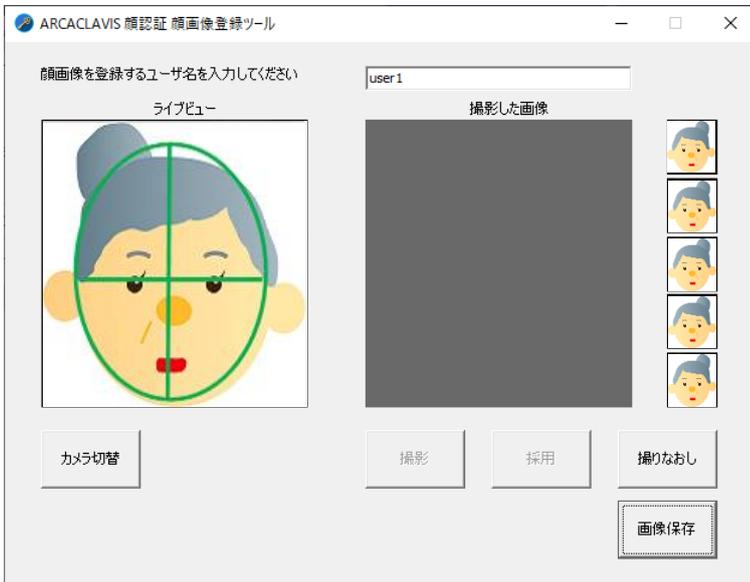


Info 顔認証の精度向上のため、撮影角度が異なるなど、異なった顔画像を採用することを推奨します。

Info 顔画像を 5 枚採用した場合、<撮影>ボタンは押下できなくなります。

7. 採用した画像を保存します。

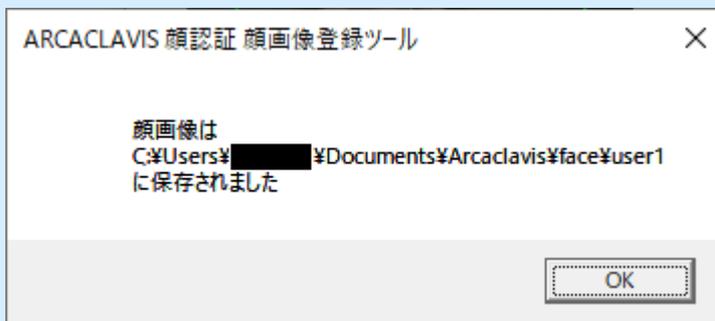
採用した顔画像を保存します。（1 ユーザーに対して最大 5 枚）



<画像保存>ボタンをクリックして画像を保存します。

正常に保存できた場合、保存先のフォルダ名が表示されます。

Info <画像保存>ボタンで正常に保存できた場合、以下の画面が表示されます。
保存場所を確認して<OK>ボタンをクリックしてください。



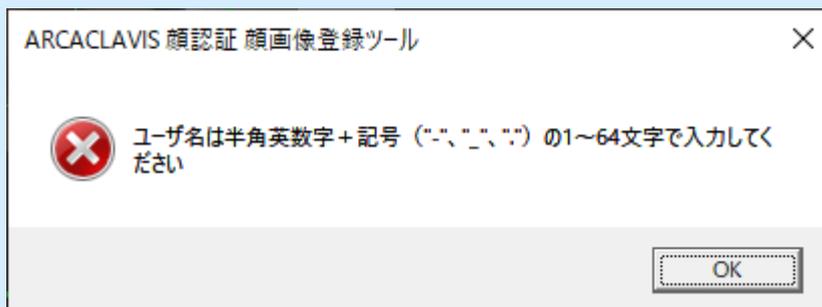
<画像保存>ボタンで保存されるデフォルトのフォルダは、以下の通りです。

「C:\Users\ログインユーザー名%\Documents\Arcaclavis\face\入力した NEXT ユーザーID」

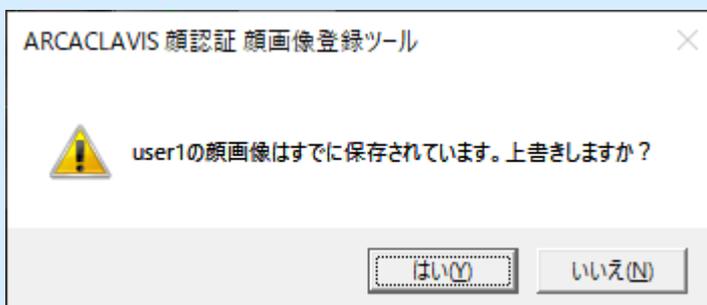
- Info** 「顔画像を登録するユーザー名」を入力せずに<画像保存>ボタンをクリックした場合、以下の画面が表示されます。
<OK>ボタンをクリックして、「顔画像を登録するユーザー名」を入力後、再度<画像保存>ボタンをクリックしてください。



- Info** <画像保存>ボタンをクリックすると、「顔画像を登録するユーザー名」のチェックを行います。チェックでエラーとなった場合、以下の画面が表示されます。
<OK>ボタンをクリックして、「顔画像を登録するユーザー名」を再入力後、再度<画像保存>ボタンをクリックしてください。



- Info** <画像保存>ボタンをクリックすると、「顔画像を登録するユーザー名」のチェックを行います。
すでに「顔画像を登録するユーザー名」のフォルダが存在する場合、上書きの確認のために、以下の画面が表示されます。

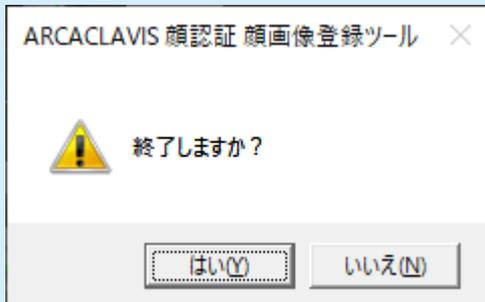


- <はい>ボタン：上書きします。前回のデータがある場合は、削除されます。
<いいえ>ボタン：画像保存処理をキャンセルします。「顔画像を登録するユーザー名」を再入力後、再度<画像保存>ボタンをクリックしてください

8. 顔情報登録ツールを終了します。

右上の<X>ボタンをクリックして終了します。

Info 右上の<X>ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。



<はい>ボタン：終了します。

<いいえ>ボタン：終了をキャンセルします。

続けて別ユーザーの顔画像登録を行うことができます。

別ユーザーの顔画像登録を行う場合、手順 4 以降を参照し、入力済の NEXT ユーザー ID を修正した後に顔画像の登録を行ってください。

3.1.3. 顔情報インポートファイルを作成する



顔情報インポートファイルを作成する手順では、顔認証用のランタイム「RS OLFACE」が必要になります。RS OLFACE のインストール手順は「RS OLFACE インストールマニュアル」を参照してください。

1. 顔情報インポートファイル生成ツールのフォルダをコピーします。

顔情報インポートファイル生成ツールを実行するコンピューターの任意のフォルダに、製品メディアまたは ISO ファイルに同梱されている以下の顔情報インポートファイル生成ツールのフォルダをコピーします。

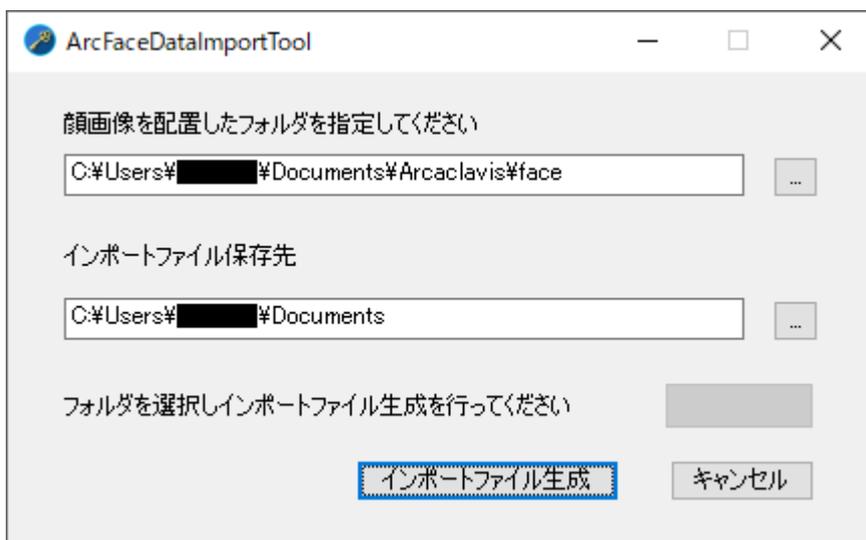
<製品メディアまたは ISO ファイル>¥Utility¥ArcOlFaceInfoGen

2. 顔情報インポートファイル生成ツールを起動します。

手順 1 でコピーしたフォルダ内にある顔情報インポートファイル生成ツール(※)を起動します。

(※) 顔情報インポートファイル生成ツールのファイル名：ArcOlFaceInfoGenStart.exe

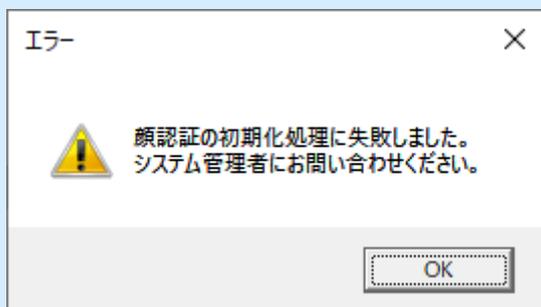
以下の画面が表示されます。



初期画面で表示されるフォルダ名は、以下の通りです。

- ・顔画像を配置したフォルダ：
「C:¥Users¥ログインユーザー名¥Documents¥Arcaclavis¥face」
- ・インポートファイル保存先フォルダ：
「C:¥Users¥ログインユーザー名¥Documents」

Info 顔認証用のランタイム「RS OLFACE」がインストールされていない状態で顔情報インポートファイル生成ツールを実行した場合は、以下のダイアログが表示されます。

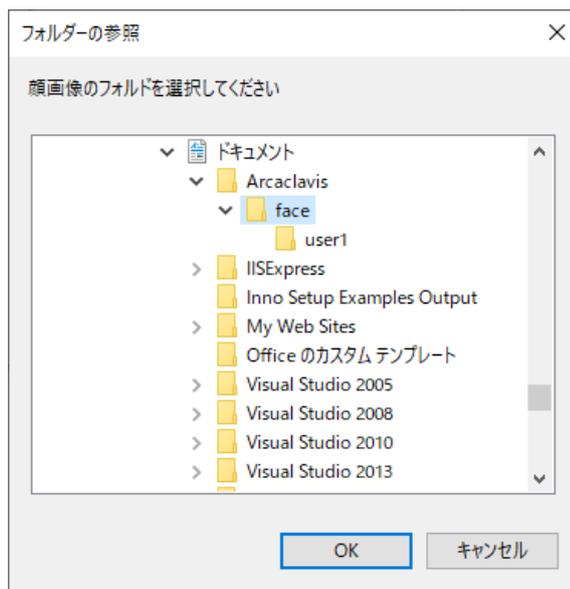


3. 顔画像を配置したフォルダを指定します。

デフォルトのフォルダでよい場合は、何もする必要はありません。

フォルダを指定する方法は以下の3パターンあります。

- 直接入力 : キーボードより直接入力して指定します。
コピー & ペーストも可能です。
- ドラッグ選択 : エクスプローラからマウスでドラッグして指定できます。
- フォルダ選択 : 右のフォルダ選択ボタンをクリックします。
以下の画面が表示されます。



このフォルダ選択画面からフォルダを選択します。

Info 顔画像を配置したフォルダを変更する場合、NEXT ユーザーID名のフォルダの1つ上の階層のフォルダを選択してください。

例) NEXT ユーザーID「user1」の顔画像が格納されているフォルダパス :

C:¥tmp¥face¥user1

指定する顔画像を配置したフォルダパス :

C:¥tmp¥face

4. インポートファイル保存先のフォルダを指定します。

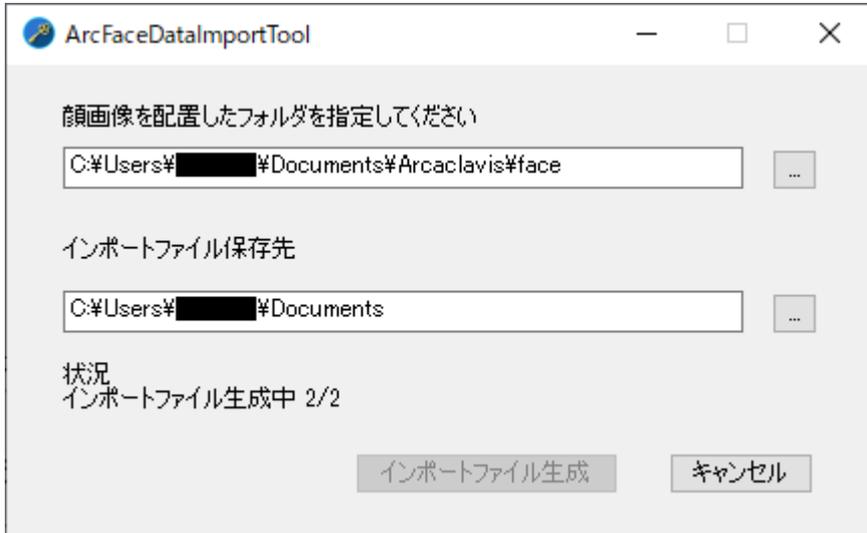
デフォルトのフォルダでよい場合は、何もする必要はありません。

フォルダ指定方法は、手順3と同じです。

5. インポートファイルを作成します。

<インポートファイル作成>ボタンをクリックします。

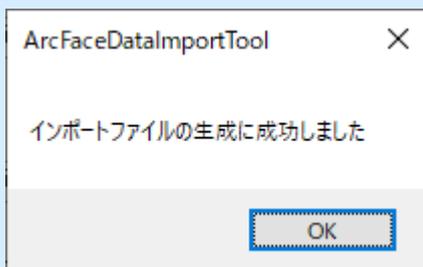
以下のインポートファイル生成中の画面が表示されます。



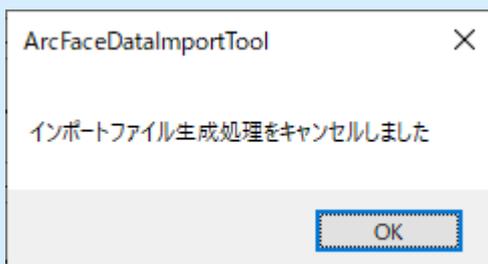
Info 正常にインポートファイルが作成できた場合、「インポートファイル保存先」に設定したフォルダに「{顔画像を配置したフォルダで選択したフォルダ名}.zip」が生成され、以下の画面が表示されます。

「インポートファイル保存先」に設定したフォルダに同名のファイルが存在している場合は、確認メッセージが表示されずに上書き保存されます。

※上記の画像例の場合、{ }は「face」に当たり、「face.zip」のファイル名で生成されます。



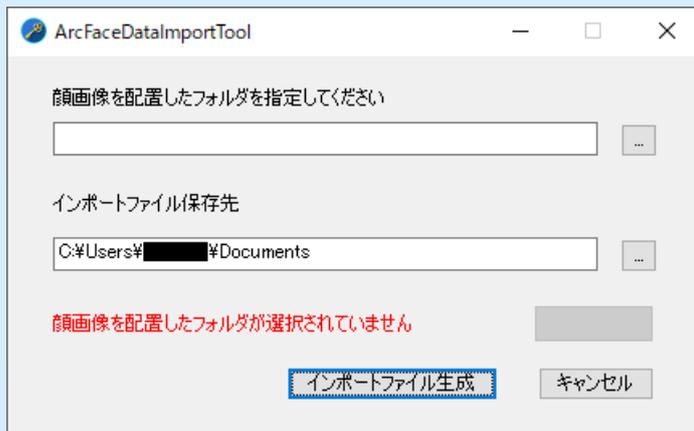
Info インポート作成処理を中断する場合は、<キャンセル>ボタンをクリックすると、インポート作成処理がキャンセルされ、以下の画面が表示されます。



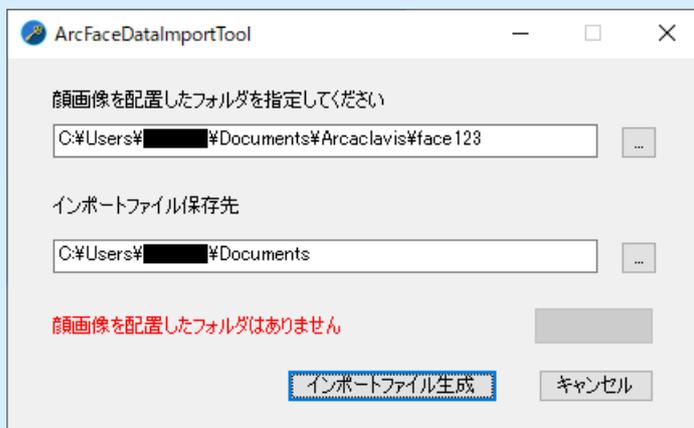
6. 顔情報インポートファイル生成ツールを終了します。
右上の<X>ボタンをクリックして終了します。

<インポートファイル生成>ボタンをクリックした時のチェック内容を説明します。

Info 顔画像配置フォルダを入力せずに<インポートファイル生成>ボタンをクリックした場合、ガイドメッセージに「顔画像を配置したフォルダが選択されていません」が表示されます。顔画像配置フォルダを入力後、再度<インポートファイル生成>ボタンをクリックしてください。

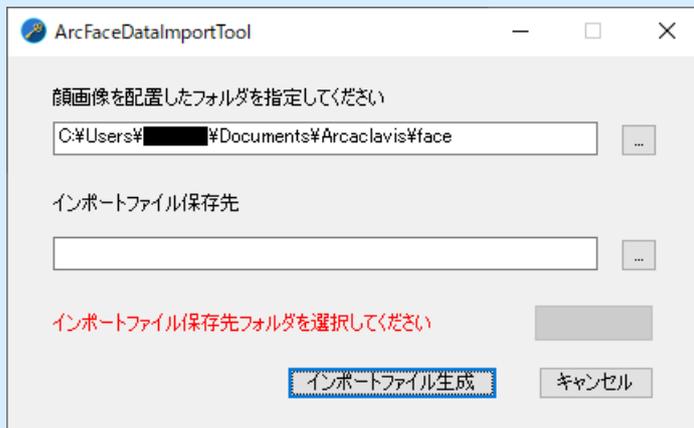


Info 存在しない顔画像配置フォルダを指定して<インポートファイル生成>ボタンをクリックした場合、ガイドメッセージに「顔画像を配置したフォルダはありません」が表示されます。顔画像配置フォルダを再入力後、再度<インポートファイル生成>ボタンをクリックしてください。



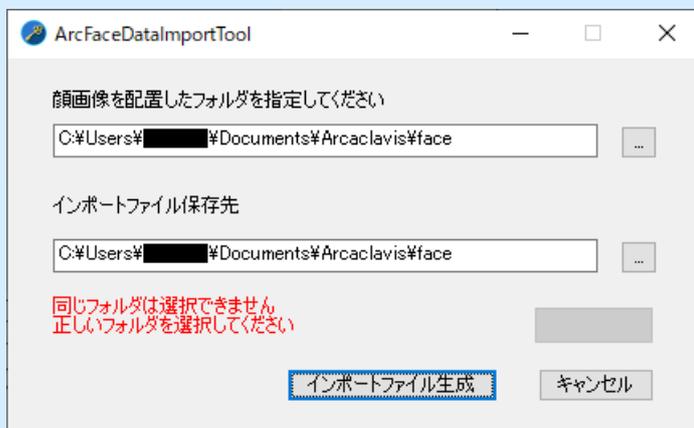
Info インポートファイル保存先フォルダを入力せずに<インポートファイル生成>ボタンをクリックした場合、ガイドメッセージに「インポートファイル保存先フォルダを選択してください」が表示されます。

インポートファイル保存先フォルダを入力後、再度<インポートファイル生成>ボタンをクリックしてください。

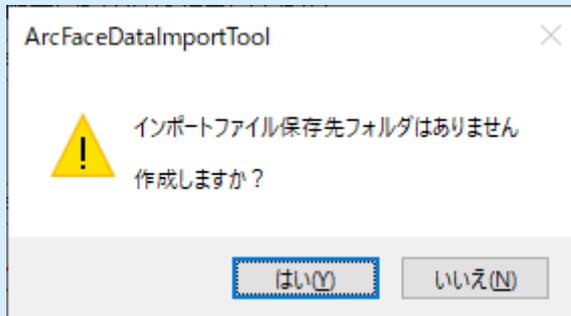


Info 顔画像配置フォルダとインポートファイル保存先フォルダに同じフォルダ名を指定して<インポートファイル生成>ボタンをクリックした場合、ガイドメッセージに「同じフォルダは選択できません。正しいフォルダを選択してください」が表示されます。

正しいフォルダを入力後、再度<インポートファイル生成>ボタンをクリックしてください。



Info 存在しないインポートファイル保存先フォルダを選択して<インポートファイル生成>ボタンをクリックした場合、新規にフォルダを作成するかの確認を行うために以下の画面が表示されます。

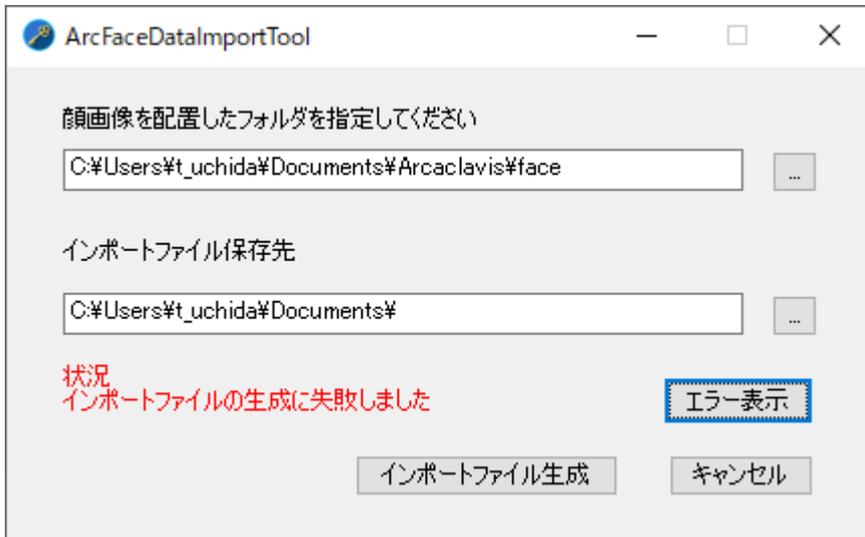


<はい>ボタン：選択されたインポートファイル保存先フォルダを新規に作成して、インポートファイル生成処理を実行します。

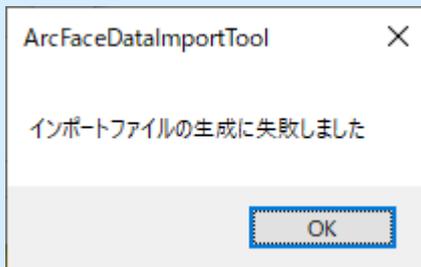
<いいえ>ボタン：インポートファイル生成処理をキャンセルします。

インポートファイル作成に失敗した場合、エラー内容を確認します。

[インポートファイル作成] 処理に失敗した場合、以下の場面が表示されます。

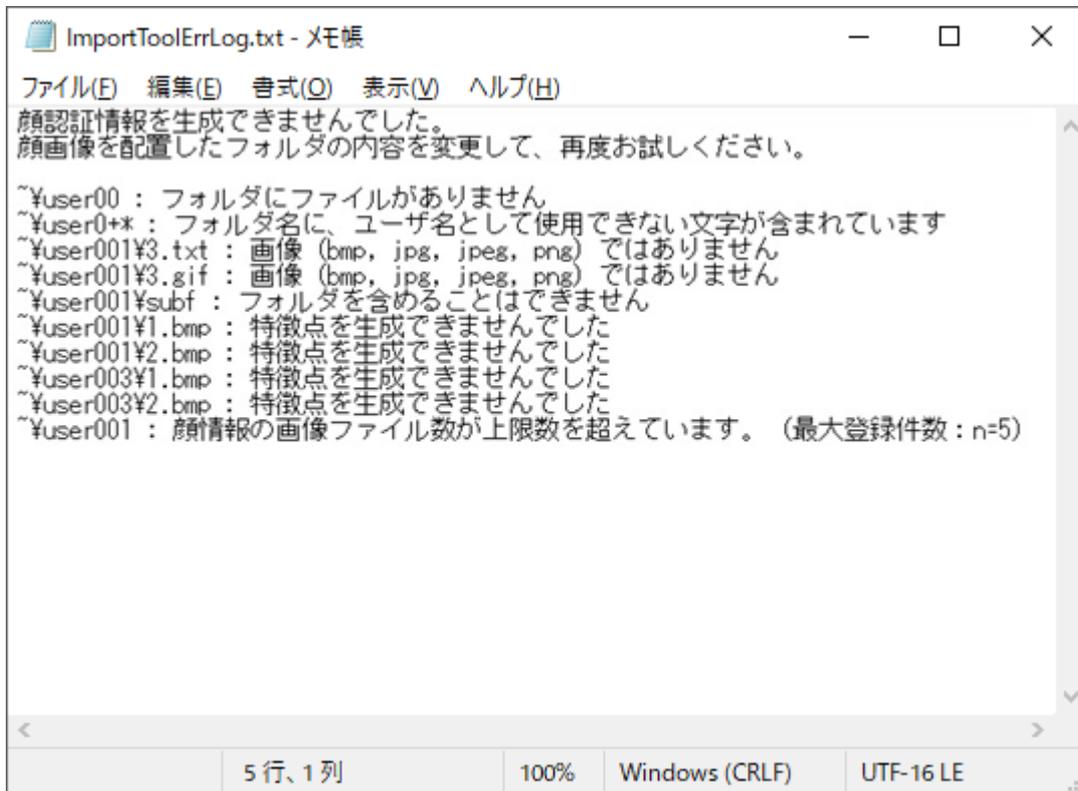


Info [インポートファイル作成] 処理で失敗した場合、以下のメッセージ画面が表示されます。<OK>ボタンをクリックして、<エラー表示>ボタンをクリックしてエラー内容を確認してください。



エラー内容を確認するには、<エラー表示>ボタンをクリックします。

メモ帳にエラー内容が表示されます。



3.1.4. 顔情報をインポートする

顔情報のインポートは、以下の手順で行います。

1. NEXT マネージャーにサインインしてください。
2. メニューの「顔画像一括インポート」をクリックしてください。
3. 前項「3.1.3. 顔情報インポートファイルを作成する」で作成した顔情報インポートファイルを選択してください。



4. <インポート>ボタンをクリックしてください。
5. 確認ダイアログが表示されます。



6. ダイアログの<インポート>ボタンをクリックしてください。

7. ジョブ管理画面が表示され、一覧にインポート処理がジョブとして追加されます。

ジョブ管理

再表示

	状態	ジョブ名	登録日時	開始日時	終了日時	登録者	情報
操作 ▾	●	顔画像一括インポート	2022/09/02 10:45:02	2022/09/02 10:45:02	2022/09/02 10:45:38	admin	ジョブ停止
操作 ▾	✖	顔画像一括インポート	2022/09/02 10:44:40	2022/09/02 10:44:40	2022/09/02 10:44:41	admin	
操作 ▾	✔	顔画像一括インポート	2022/09/02 10:44:19	2022/09/02 10:44:19	2022/09/02 10:44:20	admin	
操作 ▾	✖	顔画像一括インポート	2022/09/02 10:39:53	2022/09/02 10:39:53	2022/09/02 10:39:57	admin	

Info ジョブ管理画面の詳細は「3.1.5. ジョブ管理画面」を参照してください。



登録済みの未実行、または実行中のジョブが既に 100 件存在する場合、ジョブが追加されずに CSV インポート画面でエラーとなります。登録済みのジョブが処理されるまでしばらくお待ちいただき、再度顔画像一括インポートを実施してください。

顔画像一括インポート

- 100件の終了待ちジョブがあるため、ジョブの登録はキャンセルされました

ファイルの選択 ファイルが選択されていません

インポート

8. インポートが完了するまでしばらく時間がかかります。

Info ジョブはバックグラウンドで実行され、ジョブが追加された後は別の操作をしていただいても構いません。

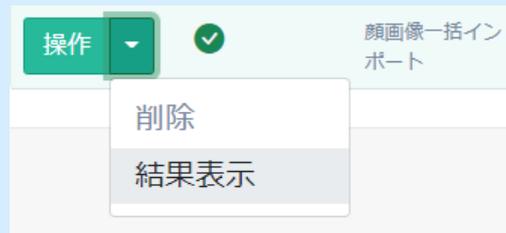
Info ジョブ管理画面は自動で画面更新が行われません。
ジョブ管理画面の<再表示>ボタンを押下することでジョブ管理画面を最新の状態に更新します。



9. ジョブ管理画面の状態が完了に切り替わればインポート完了です。

状態	ジョブ名
操作  	顔画像一括インポート

Info ジョブ管理の[操作]-[結果表示]をクリックすることで顔画像一括インポート結果画面へ遷移できます。



顔画像一括インポート結果

インポート結果

状態	結果
	顔情報のインポートに成功しました ユーザー 6 件

[ジョブ管理](#)



インポート実行時のエラー詳細については後述の「3.1.6.エラーメッセージ」を参照してください。

3.1.5. ジョブ管理画面

インポートを実行するとジョブ管理画面にジョブとして追加されます。

ジョブはバックグラウンドで実行され、ジョブが追加された後は別の操作をしていただいても構いません。

ジョブ管理画面では実行状態の確認と状態毎の操作を実施することができます。

Info 終了状態のジョブは 100 件まで保存できます。
100 件を超えた終了状態のジョブは、古い終了状態のジョブから順に削除されます。

◆ ジョブの状態

状態	説明														
未実行	<table border="1"> <thead> <tr> <th>状態</th> <th>ジョブ名</th> <th>登録日時</th> <th>開始日時</th> <th>終了日時</th> <th>登録者</th> <th>情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>操作</td> <td>顔画像一括インポート</td> <td>2021/12/07 10:57:37</td> <td></td> <td></td> <td>User1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ジョブが追加され、まだ実行されていない状態です。 ジョブは追加された順に 1 件ずつ実行されます。</p>	状態	ジョブ名	登録日時	開始日時	終了日時	登録者	情報	操作	顔画像一括インポート	2021/12/07 10:57:37			User1	
状態	ジョブ名	登録日時	開始日時	終了日時	登録者	情報									
操作	顔画像一括インポート	2021/12/07 10:57:37			User1										
実行中	<table border="1"> <thead> <tr> <th>状態</th> <th>ジョブ名</th> <th>登録日時</th> <th>開始日時</th> <th>終了日時</th> <th>登録者</th> <th>情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>操作</td> <td>顔画像一括インポート</td> <td>2021/12/07 10:49:43</td> <td>2021/12/07 10:49:43</td> <td></td> <td>User1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>実行中の状態です。</p>	状態	ジョブ名	登録日時	開始日時	終了日時	登録者	情報	操作	顔画像一括インポート	2021/12/07 10:49:43	2021/12/07 10:49:43		User1	
状態	ジョブ名	登録日時	開始日時	終了日時	登録者	情報									
操作	顔画像一括インポート	2021/12/07 10:49:43	2021/12/07 10:49:43		User1										
完了	<table border="1"> <thead> <tr> <th>状態</th> <th>ジョブ名</th> <th>登録日時</th> <th>開始日時</th> <th>終了日時</th> <th>登録者</th> <th>情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>操作</td> <td>顔画像一括インポート</td> <td>2021/12/07 10:49:43</td> <td>2021/12/07 10:49:43</td> <td>2021/12/07 10:49:44</td> <td>User1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ジョブが正常に実行完了した状態です。</p>	状態	ジョブ名	登録日時	開始日時	終了日時	登録者	情報	操作	顔画像一括インポート	2021/12/07 10:49:43	2021/12/07 10:49:43	2021/12/07 10:49:44	User1	
状態	ジョブ名	登録日時	開始日時	終了日時	登録者	情報									
操作	顔画像一括インポート	2021/12/07 10:49:43	2021/12/07 10:49:43	2021/12/07 10:49:44	User1										
エラー	<table border="1"> <thead> <tr> <th>状態</th> <th>ジョブ名</th> <th>登録日時</th> <th>開始日時</th> <th>終了日時</th> <th>登録者</th> <th>情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>操作</td> <td>顔画像一括インポート</td> <td>2021/12/07 10:56:09</td> <td>2021/12/07 10:56:09</td> <td>2021/12/07 10:56:09</td> <td>User1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ジョブが異常終了した状態です。</p>	状態	ジョブ名	登録日時	開始日時	終了日時	登録者	情報	操作	顔画像一括インポート	2021/12/07 10:56:09	2021/12/07 10:56:09	2021/12/07 10:56:09	User1	
状態	ジョブ名	登録日時	開始日時	終了日時	登録者	情報									
操作	顔画像一括インポート	2021/12/07 10:56:09	2021/12/07 10:56:09	2021/12/07 10:56:09	User1										
停止	<table border="1"> <thead> <tr> <th>状態</th> <th>ジョブ名</th> <th>登録日時</th> <th>開始日時</th> <th>終了日時</th> <th>登録者</th> <th>情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>操作</td> <td>顔画像一括インポート</td> <td>2021/12/07 10:57:15</td> <td>2021/12/07 10:57:15</td> <td>2021/12/07 10:58:16</td> <td>User1</td> <td>ジョブ停止</td> </tr> </tbody> </table> <p>[操作]-[停止]によりジョブが停止した状態です。</p>	状態	ジョブ名	登録日時	開始日時	終了日時	登録者	情報	操作	顔画像一括インポート	2021/12/07 10:57:15	2021/12/07 10:57:15	2021/12/07 10:58:16	User1	ジョブ停止
状態	ジョブ名	登録日時	開始日時	終了日時	登録者	情報									
操作	顔画像一括インポート	2021/12/07 10:57:15	2021/12/07 10:57:15	2021/12/07 10:58:16	User1	ジョブ停止									

Info ジョブ管理画面は自動で画面更新が行われません。
ジョブ管理画面の<再表示>ボタンを押下することでジョブ管理画面を最新の状態に更新します。



◆ ジョブの操作

操作	選択可能な状態	説明
削除	実行中以外	ジョブを削除します。
停止	実行中	<p>実行中のジョブを実行された時点で停止します。</p> <p>実行中にジョブを停止した場合、ジョブの再開はできません。</p> <p>未実行のジョブを実行する場合は、「3.1.4. 顔情報をインポートする」を参照し、再度顔情報のインポートを実行してください。</p> <p>例：NEXT ユーザー5件の内2件のインポートが実行された状態で停止した場合は、NEXT ユーザー2件分は反映され3件分は実行されないままジョブを終了します。</p> <p>未実行の3件分をインポートしたい場合は、再度顔情報のインポートを実行する必要があります。</p>
結果表示	実行完了時	<p>顔画像一括インポート結果画面に遷移します。</p> <p>顔画像一括インポート結果画面で表示されるエラー内容の詳細は「3.1.6.エラーメッセージ」を参照してください。</p>



ジョブ実行中に NEXT マネージャーが停止した場合、実行中のジョブは停止します。

ジョブ管理

再表示

	状態	ジョブ名	登録日時	開始日時	終了日時	登録者	情報
操作		顔画像一括インポート	2021/12/07 10:57:15	2021/12/07 10:57:15	2021/12/07 10:58:16	User1	システム停止によるジョブ停止

停止したジョブは自動で再実行されることがないため、改めてジョブを再登録してください。

停止したジョブをジョブ管理から削除する場合は、[操作]-[削除]で削除してください。

3.1.6. エラーメッセージ

◆ 顔画像登録ツール

出力メッセージ	説明
ランタイムのライセンスがないため撮影画像のチェックは行いません。	顔認証用のランタイム「RS OLFACE」がインストールされていないため、撮影した画像のチェックを行いません。 顔認証用のランタイム「RS OLFACE」をインストールした後、顔画像登録ツールを実行してください。 RS OLFACE のインストール手順は、「RS OLFACE インストールマニュアル」を参照してください。
Web カメラを認識できませんでした	Web カメラが使用不能な状態で顔画像登録ツールが実行されました。 カメラが接続されていない、カメラが故障している、またはマイクロソフト社の Teams や Skype など、他のアプリケーションでカメラが使用中のため、カメラが使用不能な状態となっています。
Web カメラの切断を検知しました。 接続状態を確認してください	顔画像登録ツール実行中に Web カメラが切断されました。 Web カメラの接続状態を確認してください。
顔の検出に失敗しました	顔画像のチェックで顔の検出に失敗しました。 再度顔画像を撮影してください。
顔特徴点の生成に失敗しました	顔画像のチェックで顔の特徴点生成に失敗しました。 再度顔画像を撮影してください。
ユーザ名を入力してください	「顔画像を登録するユーザー名」が入力されていません。 「顔画像を登録するユーザー名」に顔画像を登録する NEXT ユーザーID を入力してください。
ユーザ名は半角英数字+記号 ("-", "_", ".") の 1~64 文字で入力してください	「顔画像を登録するユーザー名」に入力不可な文字列が入力されています。 「顔画像を登録するユーザー名」に正しい NEXT ユーザーID を入力してください。

◆ 顔情報インポートファイル生成ツール

出力メッセージ	説明
顔認証の初期化処理に失敗しました。 システム管理者にお問い合わせください。	顔認証用のランタイム「RS OLFACE」がインストールされていないため、インポートファイルの生成に失敗しました。 顔認証用のランタイム「RS OLFACE」をインストールした後、顔情報インポートファイル生成ツールを実行してください。 RS OLFACE のインストール手順は、「RS OLFACE インストールマニュアル」を参照してください。
顔画像を配置したフォルダが選択されていません	顔画像配置フォルダが入力されていません。 顔画像配置フォルダを選択した後、再度<インポートファイル生成>ボタンをクリックしてください。
顔画像を配置したフォルダはありません	顔画像配置フォルダに入力されているフォルダが存在しません。 正しい顔画像配置フォルダを選択した後、再度<インポートファイル生成>ボタンをクリックしてください。
インポートファイル保存先フォルダを選択してください	インポートファイル保存先フォルダが入力されていません。インポートファイル保存先フォルダを選択した後、再度<インポートファイル生成>ボタンをクリックしてください。
同じフォルダは選択できません 正しいフォルダを選択してください	顔画像配置フォルダとインポートファイル保存先フォルダに同じフォルダが選択されています。 異なるフォルダを選択した後、再度<インポートファイル生成>ボタンをクリックしてください。
インポートファイルの生成に失敗しました	インポートファイルの生成に失敗しました。 <エラー表示>ボタンをクリックしてエラー内容を確認してください。

◆ 顔画像一括インポート

出力メッセージ	説明
ファイルが選択されていません	ファイルが未選択です。 <ファイルの選択>ボタンでインポートファイルを選択してください。
インポート可能なファイルが選択されませんでした	不正なファイルが選択されています。 顔情報インポートファイル生成ツールで生成したファイルを選択してください。
一時ファイルの作成に失敗しました	インポートファイルをサーバーにコピーする際に権限異常等で失敗した際に表示されます。 NEXT 管理 Web が稼働しているマシンの以下のパスに書き込み権限のアクセス許可が Administrators に付与されているかをご確認ください。 C:¥ProgramData¥ARCACLAVIS NEXT¥server

➤ エラー例

ファイル未選択時は以下のように表示されます。



◆ 顔画像一括インポート結果画面のエラー

項目	説明
状態	状態をアイコンで表示します。 成功：  失敗：  中断： 
結果	結果をメッセージで表示します。

Info 失敗は、事前チェックでエラーが発生した場合に表示されます。
チェック段階で中断するため、全ユーザーのインポートが行われません。

Info 中断は、登録中にデータの不整合が発生した場合に表示します。
中断前までのユーザーはインポートが行われます。

出力メッセージ	説明
ユーザーIDは1~20文字を指定してください [%S]	NEXT ユーザーID の文字数が不正です。 NEXT ユーザーID に誤りがないかご確認ください。 凡例： ・%S：エラーが発生した NEXT ユーザーID を表示
該当ユーザーが存在しません [%S]	NEXT マネージャーに登録されていない NEXT ユーザーID が指定されています。 NEXT ユーザーID に誤りがないかご確認ください。 ※凡例は前項参照
NEXT ユーザーが見つからないためインポート処理を中断しました N/M 件インポート済み [%S]	登録処理中に NEXT ユーザーが更新・削除された等が原因で整合が取れなくなり登録を中断しました。 NEXT ユーザーが更新されていないかご確認ください。 凡例： ・N：登録に成功したユーザー件数 ・M：登録対象のユーザー件数 ・%S：エラーが発生した NEXT ユーザーID を表示

出力メッセージ	説明
予期しないエラーによりインポート処理を中断しました N/M 件インポート済み [%S]	DB 異常時などの意図しない例外により登録を中断しました。 NEXT サーバーに異常がないかご確認ください。 ※凡例は前項参照
インポート処理を中断しました N/M 件インポート済み [%S]	ジョブ管理画面の操作から停止された場合に表示します。 ※凡例は前項参照



エラー一覧で表示できる内容は 100 件までです。100 件を超える場合は、以下メッセージが表示されます。

「エラー件数が 100 件を超えています。対象ユーザーが存在するか確認して下さい。」

顔画像一括インポート結果

インポート結果

エラー件数が100件を超えています。対象ユーザーが存在するか確認して下さい。

状態	結果
×	該当ユーザーが存在しません [User101]
×	該当ユーザーが存在しません [User102]

3.2. 既存の顔画像ファイルを利用する場合

3.2.1. 概要

既存の顔画像ファイルを利用する場合の手順は以下の手順で行います。

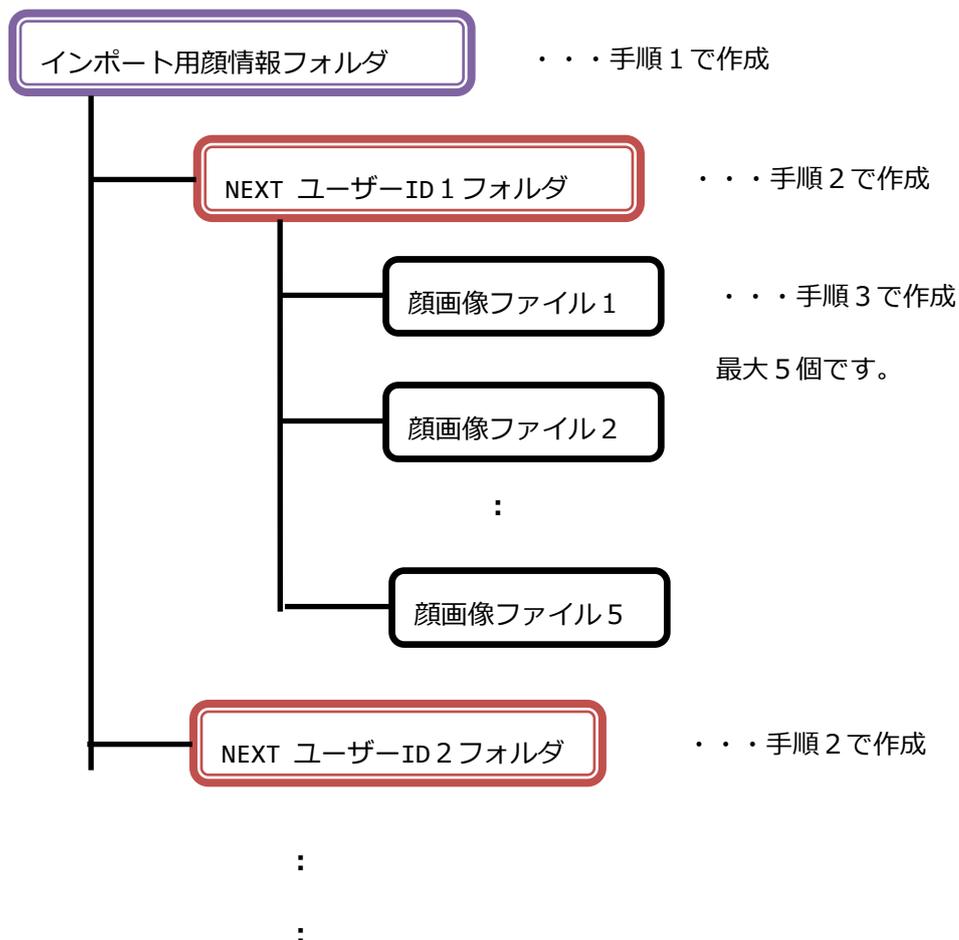
1. 顔画像を規定のフォルダ構成に従い配置
2. 1の画像を顔情報インポートファイル生成ツールに取り込みインポートファイルを生成
3. 2で出力したファイルをNEXT マネージャーのインポート機能でインポート

3.2.2. 顔画像フォルダを配置する

1. インポート用顔情報フォルダを作成します。
2. インポート用顔情報フォルダに NEXT ユーザーID と同名のフォルダを作成します。
3. NEXT ユーザーID フォルダと一致するユーザーの顔画像ファイルを配置します。
 - 顔画像ファイルの種類は、24 ビットカラーの bmp ・ jpg ・ jpeg ・ png ファイルです。
 - マスクを着用していない顔画像を使用してください。
 - 配置可能な最大ファイル数は 5 個です。

Info 顔画像ファイルを 6 個以上配置した状態で<インポートファイル生成>ボタンをクリックした場合は、「インポートファイルの生成に失敗しました。」のエラーメッセージが表示され、顔情報のインポートは失敗します。

作成するフォルダ構成は以下の通りです。



Info 顔画像フォルダの作成例

- 社員 3 名分の顔画像ファイルを準備
 - User-0001 / User-0002 / User-0003 の社員 3 名
- 社員証用で撮影した顔画像ファイルが"社員番号.jpg"
 - 社員 0003 は複数枚撮影
- NEXT ユーザーID が"User-社員番号"

```
face/  
  User-0001/  
    0001.jpg  
  User-0002/  
    0002.jpg  
  User-0003/  
    0003.jpg  
    0003_2.jpg  
    0003_3.jpg  
    0003_4.jpg  
    0004_5.jpg
```

3.2.3. 顔情報インポートファイルを作成する

「3.2.2. 顔画像フォルダを配置する」で作成した顔画像フォルダを顔画像登録ツールの「顔画像を配置したフォルダ」で指定します。

顔画像登録ツールの使用方法は「3.1.3. 顔情報インポートファイルを作成する」を参照してください。

3.2.4. 顔情報をインポートする

「3.1.4. 顔情報をインポートする」を参照してください。

編集・著作 株式会社両備システムズ

ARCACLAVIS は、株式会社両備システムズの登録商標です。

記載されている社名、製品名等は各社の商標または登録商標です。

記載されている内容は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万が一不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

また、株式会社両備システムズの許可なく、複製・改変などを行うことはできません。